

わたしの声をきいて

シリーズ 全 5 巻



出版社
より

「わたしの声をきいて」は、皆さんの身近にいるさまざまな状況にある子どもたちのことを、子どもたち自身の「声」の形で紹介する児童書シリーズです。

他者を理解することの大切さや、どんな状況の子どもにも等しく教育を受け、子どもらしい生活を送る権利があることを伝えるために編まれた全5巻。

福祉の専門書出版ならではの監修者の協力を得て、いま子どもたちに届けたい思いをやさしい絵本にしました。

みんなに知ってほしい さまざまな状況にある ぼく・わたしたちのこと

ポイント 1

小学校低学年から

すべての漢字にルビをふっているの、
絵本として子どもが楽しく読めます。

ネパールから来た スニタのお話

わたしの話、きいてくれる？
わたしの名前は、スニタ。小学2年生。
小学校に入る前は、ネパールにいて、パパは
ネパールリョウ理店で はたらために先に日本に行ったの。
わたしは1年生のときに、ママと妹の3人で日本に来たんだ。



おばあちゃんやおじいちゃん、友だちと
はなれるのは さみしかったけど、
パパがくらす日本に来るのは、
とっても楽しかったんだ。

わたしの すきなこと・とくなこと

わたしは、家づくりが大好き。
夏休みに、川へピクニックに行ったの。
日本にすんでいる おじいちゃんの家づくり、
ママの友だち、みんなあつまって、
ごはんを食べて、いっぱいあそんだ。
楽しかったな。



わたしはダンスが とくだよ。
おまつりの日は、ドレスをきて おどるの。
おでこに飾りつけるしがあるでしょ？
あれはティカっていうの。ティカをぬると、
しあわせが来るんだって！



みんなは、鼻や口から息を しているね。



息をすって はくんだ。
鼻をすする鼻や口と同じだから、
鼻をすする、くるくなるんだよ。

のどのくだに「たん」がつまったら、
きかいをつかって、すい出すよ。
このことを「きゅう引」って言うんだ。



きかいをつかうと音がするし、
のどのくだにチューブを入れたら
びっくりするかも しれないけど、
みんなが鼻をかむのと同じだよ。

くわしく知ろう！

気かん切かいを していても、自分でたんが出せる場
合は、きかいやチューブをつかわなくてもいいんだよ。
出てきた たんをティッシュでふけば だいじょうぶ
なんだ。

ポイント 2

1冊に3つのストーリー

さまざまな状況におかれている子どもた
ちの話を、本人の「声」で紹介します。

まわりの子どもにも！ 本人にも！

困ったときにどうすればよいかを、子
どもたちに向けて示しています。

ポイント 4

こまっているとき、 どうすればいいの？



学校に行くのが、とてもつらいです。だれに
そうなんすればいいの？

あなたが「ばん」 すきなおとなに ぞうだんしましょう。
あなたが「ばん」 すきなおとなに、自分か、かなしかったり、つ
らかったりすることを話してください。お母さん、お父さんでもい
い、おじいちゃん、おばあちゃんでもいいです。たんにん先生、ほ
けん堂の先生や、校長先生でもいいし、ならいごとの先生でもいいで
す。だれでもいいけれど、あなたが「ばん」 あん心して話せる すきな
おとなに話しましょう。

もし、だれにもそうだんできなったら？
だれにもそうだんできず、こまっていたら、チャイルドラインという子どものための
電話も あります。言いたくなかったら、名前を言わなくてもだいじょうぶ。
あなたの気持ちを うけとめながら、どうしたらいいか いっしょに考えてくれます。
電話：0120-999-7777 (毎日午後4時～午後9時、12月29日～1月3日はお休み)

わたしが こまったこと

あかりは、バギーという車いすで 外に
お出かけするんだけど、お母さんにかわって わたしが
おすこともあるんだ。そうすると、近じよの人から
「たいへんね」「だいじょうぶなの？」って
言われて、モヤモヤすることがあるの。



どうしてふばいされて、モヤモヤしているの？

りんさんは、お母さんから たよりにされて うれしいのに、そ
れが かわいそうだとふばいされたので、そんなふう言われ
るのは ちょっといやだなという気持ちも になったんだね。

おとなの方へ

ヤングケアラーについて 知ってほしいこと



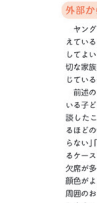
ヤングケアラーとは？

「ヤングケアラー」という言葉が一般的に使
われるようになったのは、最近のことなので、
よく知らないという人も少なくありません。
ヤングケアラーとは「家族の介護その他の日
常生活上の世話（ケア）を担っている」と
認められる子ども・若者のことをいいます。
（子ども・若者育成支援推進法）。具体的
には、「病状や障害のある家族の介護に、
買い物や料理、掃除などの家事をしている」
「小さい弟や妹、高齢者の世話をしている」
「アルコール・薬物問題などを抱える家族の
対応をしている」などさまざまです。いずれも
重い責任や負担がともないます。そのため、
勉強をしたり友だちと遊んだりする時間がと
れない、学校に通えない、眠れないなどの困
りごとが生じ、将来に影響が出ることもあります。

1クラスに1～2人の割合でいる

2021年度に厚生労働省が文部科学省と連
携して行ったアンケートによると、「世話をし
ている家族がいる」と答えた人は、小学6年
生で6.5%と約15人に1人、1クラス1～
2人くらいの割合でヤングケアラーがいるこ
とになります。

家族の世話をしている割合



家族の世話をしている割合と世帯収入の状況



のグラフのとおり、世話をしている家族が
いる場合は、いない場合にくらべて欠学や遅刻、
早退をする割合が高くなっています。学校生活
にも影響が出ることがわかります。

外部から見えない問題の背景

ヤングケアラーの多くは、自分や家族が抱
えている問題について、誰にどのように相談
していいのかわかりません。なかには、大
切な家族を支えることにやりがいや誇りを感じ
ている子どももいます。
前述のアンケートでは、家族の世話をし
ている子どもの数が、他にも家族のことを考
慮したことがないかと答えています。「相談
するほどの悩みではない」「相談しても何も変
わらない」「家族のことを話したくない」と考
えるケースが多々あります。そのため、遅刻や
欠席が多くなり、授業中に寝てしまう、
顔色がよくないなどの変化があらわれない、
周囲のおとなが気づきにくいという問題があ
ります。

法整備や学校内での支援・連携が 進む

2024年に「子ども・若者育成支援推進法」
が改正され、国や地方公共団体などがヤング
ケアラーの支援の強化に取り組むことが、法
制化されました。また、教育現場では教員と
スクールカウンセラー、スクールソーシャル
ワーカーが連携して、支援が必要な子どもを
発見し、関係機関に適切な取り組みを進め
ています。各種福祉制度を利用することで医
療や介護のサービスを受けられるようにする
など、家族の支え合いが促されています。

ヤングケアラーの相談先は？

ヤングケアラーと悩める子どもがいる場
合、次のような機関に相談できます。



学校
担任や保健指導、教員、校長先生に相談す
る。スクールカウンセラーやスクールソ
シアルワーカーなど、子どもを支援する専門
職や関係機関につなげることができます。

市区町村
多くの市区町村の福祉の窓口で、ヤング
ケアラーと家族の支援事業を行っています。

子ども支援センター
市区町村の子ども支援センターに相談相
談します。18歳未満の子どもや子育て支援の
ための相談に対応しています。

福祉で活動する団体
福祉では子ども支援や福祉や医療を結ぶ
NPO法人など、多くの関係機関が子どもたちの
支援活動を行っています。

ポイント 5

先生にも！ 保護者にも！

大人向けの情報ページを設けました。子
どもたちに伝える際に役立ちます。

ポイント 6

相談機関などの情報も掲載

当事者の子どもが困っているときの相談
先がわかるようになっています。

わたしの声をきいて シリーズ 全 5 巻

- AB判・図書館用堅牢本・各32～36ページ ● 2025年5月発行
- 定価各3,520円（本体3,200円＋税10%） ● 対象：小学校低学年から
- 揃定価17,600円（本体16,000円＋税10%）

大人向け
ページ付き



ISBN978-4-8243-0236-6

1 外国にルーツのある子どもが 知りたいこと

監修 吉富志津代（武庫川女子大学教授）

日本国外にルーツのある子どもが増えています。言葉や文化の違いで親子ともに困ったり、周りからの視線につらい思いをしたりする一方で、自分のルーツの国に誇りをもっている、話を聞いてほしいなど、特有の状況にある子どもたちの思いを本人の「声」でわかりやすく伝えます。

- ネパールから来た スニタのお話
- フィリピンから来た ジュンのお話
- ペルーから来た ホルへのお話



ISBN978-4-8243-0237-3

2 学校に行くのがつらい子どもの気持ち

不登校・登校しぶり

監修 石井しこう（不登校ジャーナリスト）

小・中学校における不登校の子ども数は急増しており、2023年度も過去最多を更新しました。本書では、さまざまな理由で学校に行けない、行くのがつらい3人の子どものリアルな「声」を紹介し、不登校・登校しぶりある子どもについて理解を深めます。

- じゅぎょうがつらくてほけん室にいる りくとのお話
- お友だちとあそぶのがうまくいかなくてつらい るいのお話
- おうちですごしている ゆめのお話



ISBN978-4-8243-0238-0

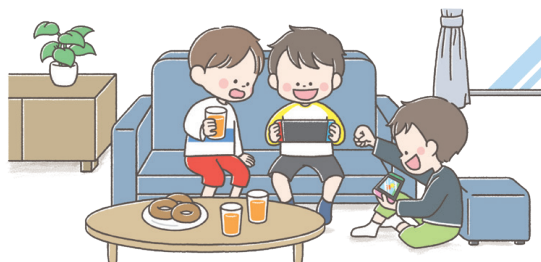
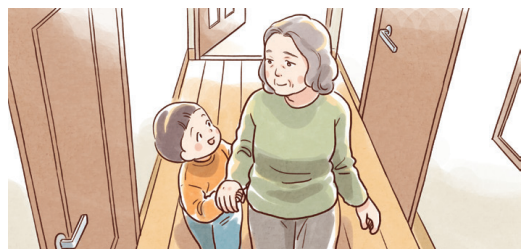
3 家族のお世話をしている子どもの本当の気持ち

ヤングケアラー

監修 野尻紀恵（日本福祉大学教授）

ヤングケアラーの多くは、自分や家族が抱える課題を誰にどのように相談すればよいのかわかりません。支援が必要な状況でも、外からは課題が見えにくいヤングケアラーについて、本人の「声」を紹介し、周囲の理解を促すことで、本人が「たすけて」と言えることを目指します。

- 弟と妹のお世わをしている りこのお話
- おばあちゃんのお世わをしている こうたのお話
- お母さんのお世わをしている ゆうとのお話



ISBN978-4-8243-0239-7

4 病気や障害のある兄弟姉妹がいる子どもが思っていること きょうだい児

監修 藤木和子（弁護士）、柳田めぐみ（ソーシャルワーカー）

きょうだい児とは、病気や障害のある子どもの兄弟姉妹のことです。親の意識が病気や障害のある子どもに向いてしまうため、自分を見てもらえないさみしさや、友達に家族のことを話せないといった悩みを抱えることも。本書では、きょうだい児の思いを「声」の形で伝えます。

- お兄ちゃんとのちがいにとまどう れんのお話
- 妹のことでこまっている みなのお話
- 心ばいされてモヤモヤする りんのお話



ISBN978-4-8243-0240-3

5 医療的ケアが必要な子どもの気持ち

監修 一般社団法人日本医療的ケア看護職員支援協会

近年、医療的ケアを必要とする子どもが増えています。本書では、1型糖尿病や、身体の障害、コミュニケーションの障害などとともに生きる3人の子どもの「声」を紹介します。医療的ケアを使う生活の様子や、困りごと、楽しみにしていることなどを、わかりやすく伝えます。

- 1がたとうにようびょうの かなのお話
- 気かん切かいをしてこきゅうをしている たいちのお話
- 人工こきゅうきをつかっている しんじのお話

お問い合わせ

中央法規出版株式会社
仙台営業所 設樂 幹

☎ 080-6539-7204

✉ shitara@chuohoki.co.jp

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-9-2-5F
TEL.022-222-1693 FAX.022-216-5087